

◆基本仕様

名 称		varioPRINT 6330	varioPRINT 6270	varioPRINT 6220	varioPRINT 6180
形 式		コンソール			
印刷方式		1パス両面同時印刷方式(トナー)			
定着方式		転写ベルト方式(転写定着同時)			
書き込み解像度		600x600dpi、600x1200dpi			
用紙サイズ		SRA3、A3、A4、B4、B5※1、203x203mm～320x488mm (8x8"～12.6x19.2")			
用紙坪量※2		普通紙・厚紙:60～200g/㎡	普通紙・厚紙:60～200g/㎡、コート紙:120～160g/㎡		
ウォームアップタイム※3	主電源立ち上げ時	16分以下(室温20度)※4			
	リカバリータイム	12分以下(室温20度)			
ファーストプリントタイム		30秒以下※5			
連続プリント速度(両面)	A3	168ページ/分	146ページ/分	118ページ/分	96ページ/分
	A4	328ページ/分	270ページ/分	220ページ/分	180ページ/分
連続プリント速度(片面)	A3	86ページ/分	84ページ/分	68ページ/分	68ページ/分
	A4	164ページ/分	148ページ/分	126ページ/分	126ページ/分
給紙方式/給紙容量(80g/㎡)	ペーパー・インプット・モジュール	給紙方式:エア+ベルト給紙方式			
		給紙トレイ容量:1,700枚※6 x2、600枚x2			
		最大接続台数:3台(合計13,800枚給紙)			
		備考:重送検知機構搭載			
排紙容量(80g/㎡)	大容量スタッカー iHCS2	積載枚数:3,000枚x2束			
		最大接続台数:3台(合計18,000枚積載)			
		備考:オプションでA4 最大100枚の平綴じに対応※7			
電 源	本体	AC200V(単相三線)、50A、50/60Hz※8			
	ペーパー・インプット・モジュール	AC100V、15A、50/60Hz			
	大容量スタッカー iHCS2 / トップカバー付	AC100V、15A、50/60Hz			
消費電力	本体待機時	0.9kW			
	本体動作時	4.9kW	4.4kW	4.3kW	4.0kW
	本体印刷時最大	9.2kW以下			
大きさ	本体	1,439mm(幅)x 1,072mm(奥行)x 1,225mm(高さ)			
質 量	本体	775kg			
	標準構成	1,397kg※9			
機械占有寸法		3,998mm(幅)x 1,072mm(奥行)※10※11			
トナーボトル容量		800g/本(A4 6%原稿 約23,000ページ相当、1箱2本入)			
備 考		—	オプションで1ヶ月単位、または恒久的なスピードアップが可能		

※1:B5給紙キット装着時。装着した場合は、用紙残量が高さ約1cmになると用紙切れ表示になります。 ※2:弊社推奨紙のご利用をお勧めします。使用条件によっては正しく出力できない場合があります。 ※3:使用環境、使用条件によって変わることがあります。 ※4:PRISMAsyncコントローラーの起動時間(約4分、印刷データが各キューにない場合)を含みます。 ※5:処理済みデータを出力指示してからスタックカートレイが排出されるまでの時間。(標準構成で用紙を給紙デッキの1段目に積載した場合) ※6:オプションのデュオ・ペーパートレイキットC1装着時、A4サイズ3,400枚に拡張可能。 ※7:フィニッシャー部は、varioPRINT 6330/6270と接続時、A4両面 250ページ/分で動作します。 ※8:本体(ベースモジュール)、インプット・インターフェース・モジュール(IIM)およびPRISMAsyncコントローラー。給排紙部は除く。必要電源および注意事項は、設置環境基準書に基づきます。 ※9:本体(ベースモジュール)、インプット・インターフェース・モジュール(IIM)、ペーパー・インプット・モジュール、大容量スタッカー iHCS2トップカバー付、PRISMAsyncコントローラー、数板(5式10枚)の合計。用紙の重さは含みません。 ※10:本体(ベースモジュール)、インプット・インターフェース・モジュール(IIM)、ペーパー・インプット・モジュール、大容量スタッカー iHCS2トップカバー付の合計。稼働やメンテナンスに必要なスペースは含みません。 ※11:用紙排出時、排紙トレイが手前側に約50cm出てきます。

●製品改良のため予告なく変更を行うことがあります。記載の内容は2021年9月現在のものです。●保守サービスの方式、料金等、詳細については担当セールスにお問い合わせください。●保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)
●WindowsおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。●Mac、Mac OSは、Apple Inc. の商標です。
●Adobe、PostScript、PostScript 3及びPostScriptロゴは、米国Adobe Systems社の商標です。●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本カタログに記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●本カタログ内の画面は、ハメコミ合成です。●本カタログ内のサンプルは、実際のプリントアウトとは異なります。●本カタログの本体とオプションの写真はCGのため、実際と細部が異なります。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

Home Page オンデマンドプリンター ホームページ
canon.jp/pod-printer

【発行元】キヤノンマーケティングジャパン株式会社
プロダクションシステム企画部

【製造元】Canon Production Printing Netherlands B.V.

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON S TOWER

●お求めは信用のある当社で

2021年9月現在

00573502

Canon

varioPRINT
6330/6270/6220/6180

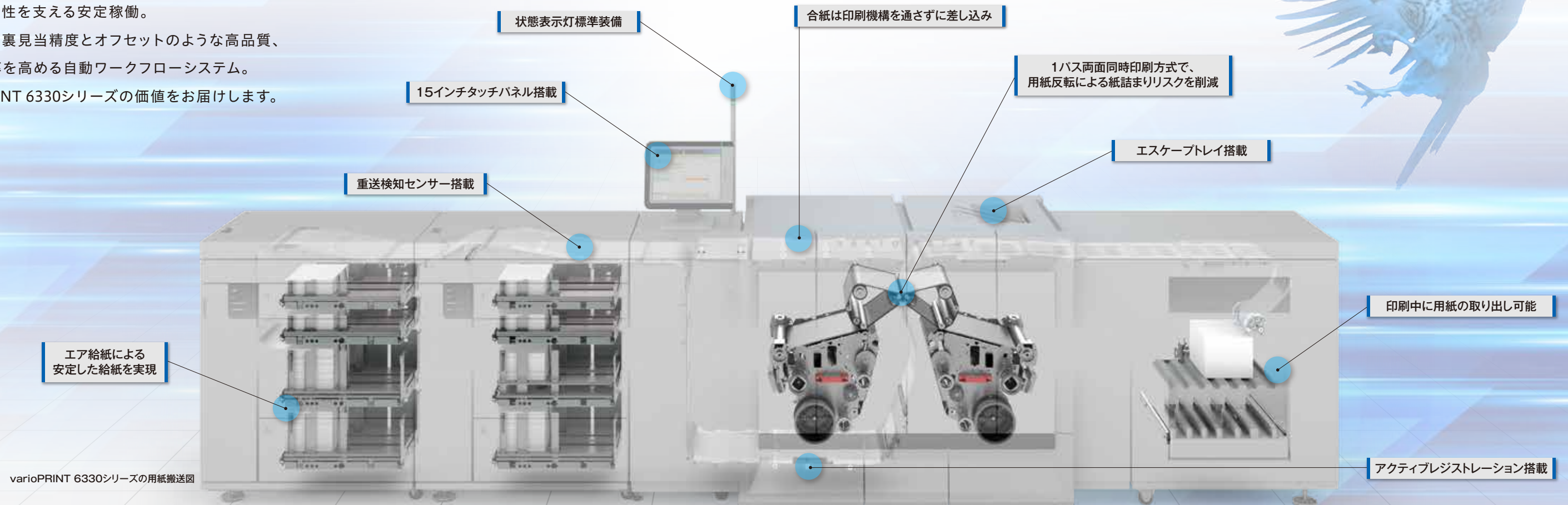
Black & White Toner Sheet fed



プリントビジネスを飛躍させる

高速モノクロデジタル印刷システム

独自の1パス同時両面印刷方式による高い生産性、
その生産性を支える安定稼働。
優れた表裏見当精度とオフセットのような高品質、
印刷効率を高める自動ワークフローシステム。
varioPRINT 6330シリーズの価値をお届けします。



varioPRINT 6330シリーズの用紙搬送図

Line up [生産量に応じた幅広いラインアップ]

varioPRINT 6330 / 6270 / 6220 / 6180

両面A4:328ページ/分

両面A4:270ページ/分

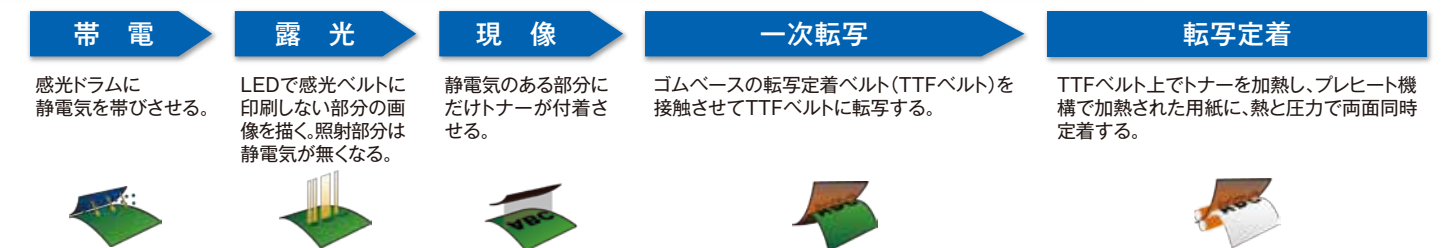
両面A4:220ページ/分

両面A4:180ページ/分

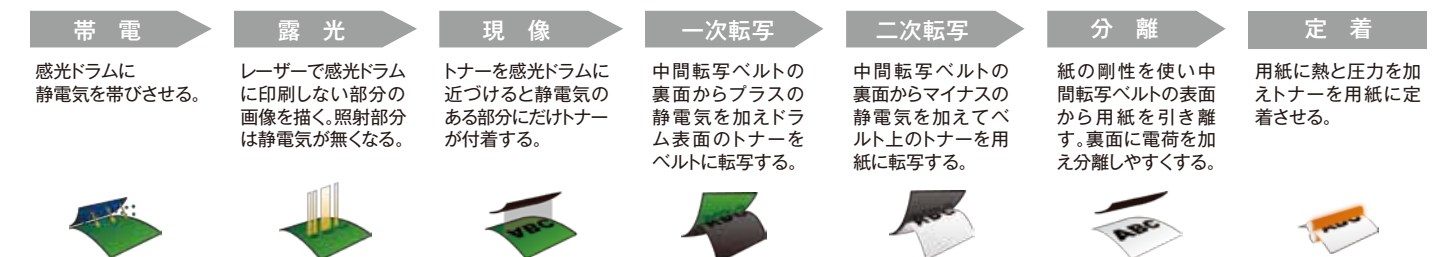


※基本構成モデルの図です。

varioPRINT 6330シリーズの印刷プロセス(コピープレス方式)



従来の印刷プロセス(静電転写+中間転写ベルト方式)



POINT

- ◆用紙へのトナー転写時に定着まで行うため、両面同時印刷が可能に。
- ◆両面同時印刷により表裏の印字ずれが少なく、高い搬送性能を実現。
- ◆低融点トナーの採用により、光沢の少ないマットな画質と用紙の波うちを低減。

高い生産性と信頼性を両立

1パス両面同時印刷

Gemini (ジェミニ) テクノロジーにより1パス両面同時印刷を可能にしました。1回の通紙(1パス)で両面同時印刷することで、高い生産性と安定した品質を実現しました。



優れた表裏見当精度と用紙搬送性

1パス両面同時印刷を採用しているため、用紙の表と裏面を同時に印刷することができます。これによって、優れた表裏見当精度を実現しました。また、両面印刷時に本体内部で用紙の反転がないため、紙詰まりの少ない安定的な稼働ができます。



アクティブレジストレーション搭載

本体下部に用紙位置を補正するアクティブレジストレーションを搭載。印刷速度を落とさず転写定着部への用紙搬送タイミングや斜行を補正して印字位置精度を高めています。



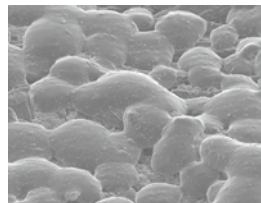
エスケープトレイ搭載

本体上部にエスケープトレイを搭載。スタッカーで紙詰まりが発生した際に本体内の用紙残留を排出し、ダウンタイムを軽減します。また、中間チェック印刷機能で出力中にページの複製で排出し、抜取による画像確認も可能です。



光沢の少ないマットな画質

低融点の一成分トナーを熱と圧力による直接転写でトナーを紙の繊維に定着させて、光沢感のないマットな画質を実現しています。通常のオンデマンドプリンターと違い、目に優しい墨の黒さでオフセット印刷に近い風合いが特徴です。



印刷部分の電子顕微鏡画像 (CG)

A4 328ページ/分、A3 168ページ/分の印刷速度※

短納期で高い生産性を求められるモノクロデジタル印刷のニーズに対応します。

※varioPRINT 6330の印刷速度。各機種の印刷速度は下記の通りです。

varioPRINT 6180	varioPRINT 6220	varioPRINT 6270	varioPRINT 6330
A4: 180ページ/分 A3: 96ページ/分	A4: 220ページ/分 A3: 118ページ/分	A4: 270ページ/分 A3: 146ページ/分	A4: 328ページ/分 A3: 168ページ/分

高い生産性を支える大容量の給排紙

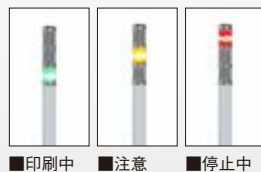
給紙部は、最大3台の給紙デッキで12段、13,800枚の給紙が可能。また、オプションのデュオ・ペーパーパートレイキット C1装着時は、最大A4 24,000枚の積載が可能です。また、大容量スタッカーも同じく最大3台接続が可能で18,000枚の排紙が可能です。また、印刷中も給紙トレイに用紙を補給したり、スタッカーから印刷済み用紙を取り除くことができます。

※80g/m²紙の場合



状態表示灯を標準装備

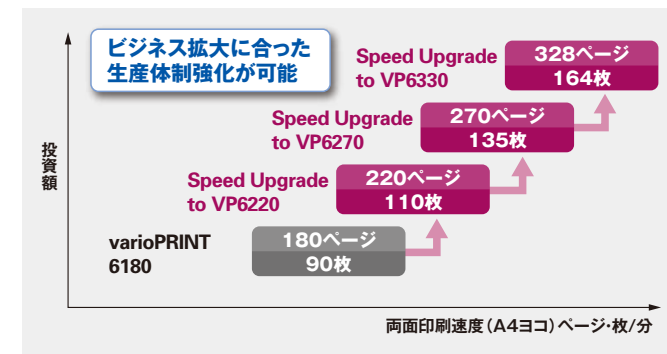
トナー補給や給紙のタイミングや万が一のエラーを逃さず知らせる状態表示灯を搭載。離れた場所からもランプの色で稼働状態が確認できます。また、注意状態に変わるタイミングをタッチパネル上で分単位に変更できます。



■印刷中 ■注意 ■停止中

時代の変化に応える柔軟性

スピードアップで、様々なビジネススタイルに対応



■スピードアップグレードライセンス

ビジネス拡大に合わせ上位機種にアップグレードするオプション。

※varioPRINT 6180を初期導入した場合、varioPRINT 6220/6270/6330へスピードアップ

業界標準のワークフローに対応

Adobe PDF Print Engine 5を搭載※。効率的で信頼性の高いPDFワークフローを構築します。また、オプションのPPMLでバリエーションデータの印刷にも対応します。

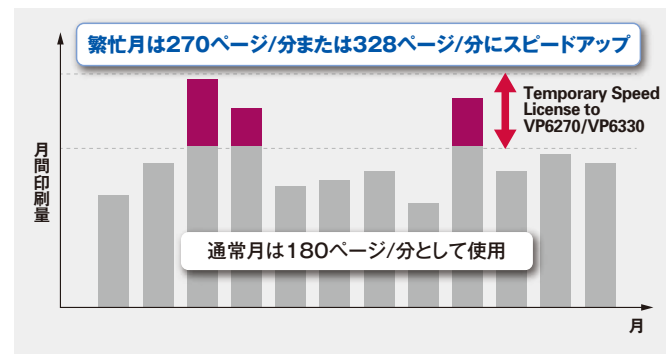
※PRISMAsyncバージョン8以降で対応。プリンタードライバー (UPD) 出力時は対応しません。

ワークフロープロファイル機能

ワークフロープロファイル機能は、受信データの一時保存先や排紙時の積載方法の標準設定をタッチパネル内で設定できます。受信順に連続出力する「自動」や、受信後にオペレーター側で出力順を決める「手動設定」、各項目を設定するカスタムなど、出力環境に合わせて選択できます。

プリプレスソフトウェア (オプション)

オプションのPRISMAprepareは、PDFベースのプリプレスソフトウェアです。出力データの取込から編集・印刷・保存までのワークフローを簡単かつ効率的に行うことができます。複数ページのサムネイル表示や重ね・ミラーリング (鏡像) 表示、用紙プレビューによる面付確認で刷り上がりイメージを確認しながらプリプレス作業を進められます。



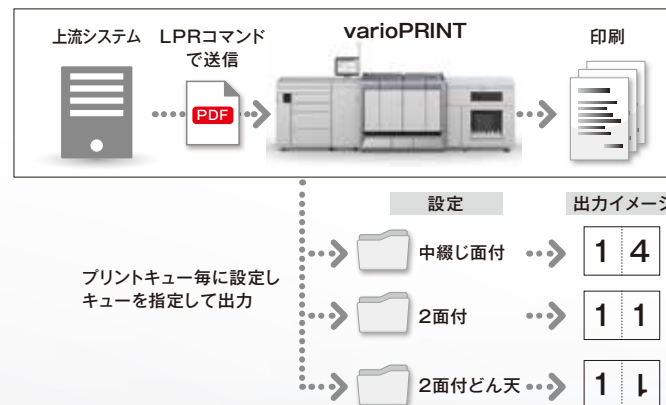
■テンポラリーアップグレード

繁忙期に1か月単位で一時的なスピードアップが可能なオプション。

※varioPRINT 6180を導入した場合、varioPRINT 6270/6330へ一時的にスピードアップ

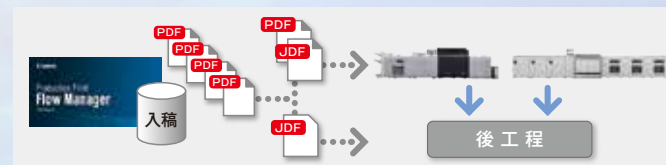
自動ワークフロー機能

自動ワークフロー機能は、印刷キューごとに面付パターンなどタッチパネルで設定する項目を予め定義する機能です。キューに到着したPDFファイルを定義に従って処理します。出力元のクライアント上のPCに作成したショートカット経由で投入してホットフォルダとして使用したり、上位システムからLPRを利用して投入することもできます。また、プリンター内のPDFジョブにも適用できるため、プリンタードライバーのテンプレート機能としても使えます。



システム連携による自動ワークフローの構築 (オプション)

オプションのProduction Print Flow Manager (PPFM) は、varioPRINT 6330シリーズが得意とする取扱説明書や書籍の生産におけるジョブ投入／面付／印刷／加工／出荷の作業を生産管理システム・受発注システムと連携し、自動化するシステムです。自動化されたワークフローの構築により、ミスをさせない、またミスが発生してもやり直しが簡単な仕組みを提供します。



※給排紙オプションをフル装着時の図です。

印刷効率を高めるPRISMAsyncコントローラー

高速出力を支えるPRISMAsyncコントローラー

PRISMAsync (プリズマ シンク) コントローラーは、高速CPUと8GBのメモリで大量印刷をサポートします。また、標準搭載のストリーミング機能で、印刷しながらのデータ処理 (Print-while-Rip) が可能です。

15インチタッチパネル搭載

15インチの操作パネルは、大きなサイズのボタンで操作感到に優れています。ジョブの出力部数や設定変更もパネル上で操作でき、急な変更にも対応できます。また、プレビュー表示※により出力前に確認することでミスを防ぎます。

※PDFデータのみ可能、PSデータは出来ません。



DocBoxによるジョブ管理

DocBox機能は、フォルダ単位で出力したデータの保存場所を提供します。出力したデータを直接ボックスに保存したり、ボックス内のジョブは出力部数や設定変更が行えます。また、ボックス単位でパスワード設定可能です。品質確認用チャートなど頻繁に使うジョブをプリンター内に保管できます。

※DocBox保存データのバックアップ機能はございません。



最大8時間先のスケジュール管理

PRISMAsyncコントローラーが搭載しているスケジューラー機能は、最大で8時間先までの印刷スケジュールを表示します。グラフの色で用紙補充や出力用紙の取出しタイミングが一目で分かり、オペレーターは作業の見通しが立てながら他の作業に従事できるようになります。



複数プリンターの稼働状況を可視化

PRISMAsyncリモートマネージャーはウェブブラウザ経由でのリモート管理を可能します。LAN経由で最大5台の印刷スケジュール確認や設定変更ができ、varioPRINTシリーズおよびPRISMAsync搭載のimage PRESSシリーズも接続可能です。

※対応ブラウザ、バージョンは制限がございます。
※最大同時5ユーザーまでアクセス可能です。



アカウント機能による出力ログ取得

出力ファイル名やページ数、日時の情報をCSV形式でダウンロード可能。取得間隔は月/週/日から選択できます。また、ジョブ名をマスクして集計に必要な情報だけ保存してセキュリティを保つこともできます。

クラウドを活用した機器管理サービス

スマートフォンから稼働状況を確認

PRISMAsync Remote Controlは、スマートフォンにインストールしたアプリへ、ジョブの進捗状況やプリンターの稼働状況をお知らせします。トナー切れや用紙の補給をアプリに通知することで、離れた場所で作業をしながらプリンターの稼働状況を把握でき、オペレーターの作業効率とプリンターの稼働率の向上をサポートします。



複数拠点の稼働状況を一覧表示

PRISMAlytics Dashboardは、複数台のプリンターの稼働実績や出力実績を自動的にクラウドに集約し、PCのブラウザ上で閲覧できる管理者向けサービスです。日/週/月ごとの推移をグラフ化し、稼働傾向の変化や繁忙期と閑散期のばらつきなどを可視化できます。



国際エネルギースタープログラムに適合

varioPRINT 6330/6270は国際エネルギースタープログラムに適合※しています。

※varioPRINT 6220/6180は適合していません。



RoHS指令に対応

varioPRINT 6330シリーズは、RoHS指令 (特定10物質) に対応しております。

RoHS
対応

SECURITY

削除データの上書き消去

ハードディスク上のデータを上書き消去するeシュレディング機能を搭載。データの抹消は、NIST SP800-88 (米国立標準技術研究所 媒体のサニタイズに関するガイドライン) に準拠しています。

ハードディスクの暗号化

PRISMAsyncコントローラーはセキュリティチップ (TPM) を搭載しており、内蔵ハードディスクが暗号化処理されています。取り外したハードディスクからの情報漏えいを防ぎます。

※ハードディスク暗号化機能は、2022年対応予定

※暗号化はPRISMAsyncシステムのバージョンアップが必要です。

OPTION 給排紙オプション

ペーパー・インプット・モジュール・オプション B1

増設用給紙デッキ。1システムに最大2台増設可能です。

大容量スタッカー iHCS2 トップカバー付 B2

増設用スタッカー。1システムに最大2台増設可能です。

※装着時に必要なオプションや、上記以外のオプションは、価格表をご確認ください。

◆ 標準構成※

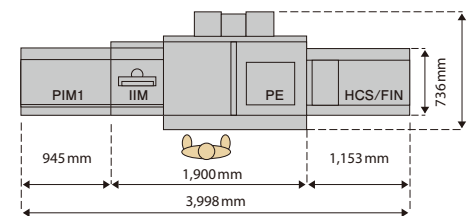


※画像には数板は含まれません。

◆ 最大構成※



◆ 上面図



◆ 寸法および重量

	重量 (kg) ※ ※用紙の重さ含まず	寸法 (mm)		
		幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)
本体	ベースモジュール※1	775	1439※2	1072
	インプット・インターフェース・モジュール (IIM)※1	100	470※2	1225
ペーパー・インプット・モジュール	スタンダード B1	216	945	716
	オプション B1			
大容量スタッカー	トップカバー付B2	160	1153	736※4
	セットフィニッシャー付B2	290	1153	736※4

※1 ベースモジュールとIIMにキャスターはございません。 ※2 ベースモジュールとIIM接続時の幅は、合計1,900mmです。

※3 IIM本体のみ、状態表示灯は含みません。上部に操作部 (オペレーティング・パネル) を置きます。

※4 用紙排出時は手前側に排紙トレイが出てきて奥行1,210mmとなります。

